



すいせん図書



【小説】

	『明日のひこうき雲』 八束 澄子 わたし、はじめて人を好きになったー 14歳の等身大の、恋、友情、葛藤を描く青春ラブストーリー！ 単身赴任中の父親、うつ病の母親、幼い弟…家族の問題を一身に背負い、いつも晴れない心を抱える遊。ある日、偶然見かけたサッカー部のキンちゃんが見せた鋭いまなざしに、惹かれていく。 ひょんなことから、親友の満里と転校生のあさみ、遊の三人で、サッカー部の押しかけマネージャーになり、恋と友情を育みながら、一步一步成長していく。 ★「恋をする」とこんな気持ちになる！今まさに中学生の君たちに、ぜひ読んでもらいたい青春小説です！！【相馬竜先生】
	『オオカミを森へ』 キャサリン・ランデル 今から100年ほど前のロシア。大きくなってしまったペットのオオカミを引き取り、森に返す仕事をしている母親と、人里離れた森で暮らす少女フェオ。フェオとオオカミ達は本当の家族、親友だった。 ある日、軍の指揮官ラーコフがやってきて、オオカミを殺そうとし、逆らった母親を逮捕してしまう。ラーコフをスキー板で殴りつけて逃げ出したフェオは、オオカミたちと元兵士の少年と共に、母を取り戻すため旅に出るー ★ロシアの貴族がオオカミをペットにしていたというのは実話だそうです。
	『ボトルクリーク絶体絶命』 ワット・キー アラバマ州湾岸に、ネイティブ・アメリカン、クリーク族とチョクトー族が遺した18の土塁があり、ボトル・クリーク遺跡と呼ばれている。 13歳の少年コートは、ハウスボートで父と二人暮らし。腕利きのリバーガイドである父の仕事を手伝ううち、大人顔負けの知恵と技術を身につけていたが、ある日、巨大ハリケーンがアラバマ州を直撃！すみずみまでよく知るはずの沼地は姿を変え、ハウスボートは流されていく。想定外の事態にコートは・・・。 戦慄のサバイバル・アドベンチャー！ ★次々と襲いかかる危機的な状況に、息をのむ思いで読み進められます！

	『理科準備室のヴィーナス』 戸森 しるこ 中学校のクラスになじめない結城瞳、とくにランクの高い南野さんには小学生のときから嫌われている。 洋風の印象的な顔立ち、シングルマザーとうわさされるいつも白衣の人見先生とかかわりができ、理科準備室に行ってみると、同じクラスの正木くんが先生と向かい合っていたのだった。3人は金曜日の放課後、理科準備室で過ごすようになる。 白衣、花言葉、洋菓子、絵画、そして名前…さりげなく配された小道具が“私”と“友だち”と“家族”をあざやかに描き出す。 ★不思議な感覚が残る小説。自分の気持ちに真正面から向き合う中学生の二人が、とにかく魅力的です。
	『ゆけ、シンフロ部』 堀口 泰生 ギャラクシー賞を受賞した傑作CMが、小説になって登場。温泉で行われる新しい競技「シンフロ（ナイズドスイミング）」 これは、シンフロ同好会に集まった少女たちが、汗と涙とお湯をかけ流す、感動の青春小説である。 ★おおいたPR動画「ゆけ、シンフロ部！」の小説。YouTubeでドラマ化された動画を観てから読めば、感動が2倍に！！
	『マイナス・ヒーロー』 落合 由佳 バドミントン部の海は万年銀メダルの中2。他校から「シルバー・ヒーロー」と揶揄されても、ふわふわと笑っている、そんな少女だった。 同級生の凧人は、体が弱くてバドミントンを諦めた過去がある。ある日、体育の授業のバドミントンで、やる気なくラケットをもてあそんでいた凧人を強引に誘い、ダブルス対決をすることに。しぶしぶながら部のマネージャーとなった凧人は、海との約束を果たせるのか―― 中学生のバドミントン部を題材にした臨場感あふれる正統派部活小説。 ★オリンピック代表の潮田玲子さん推薦。熱くてピュアな物語。
	『ラブリィ！』 吉田 桃子 拓郎は自分が撮った映画でコンクールで念願の賞を取る。喜ぶ拓郎だが、審査員に褒められているのは主演を飾ったみんなからブスだとバカにされているクラスメートの涼子。拓郎は映画にぴったりだと思い主演に抜擢したのだが、涼子が主演だということは外部には秘密だったため、拓郎はこれを機会にその秘密がバレるかもしれないと焦り出す。 美醜をめぐる周囲の人たちの反応を見ながら、自分の価値観の置き所を模索していく少年の物語。 ★見た目重視の世の中に一石を投じる！相手の内なる魅力に気がつく拓朗くんが、とても素敵です。